

研究分野	普及・啓蒙	部名	漁場環境部
研究課題名	試験船体験航海事業		
予算区分	県単		
試験研究実施年度・研究期間	H.14 ～ H.18		
担当	佐藤 晋一		
協力・分担関係	西海岸二町水産振興協議会		

〈目的〉

近年、小学生を対象に海洋や漁業に関する様々な体験学習を通して理解と興味を持たせ、科学する心を育み、また、将来の漁業及び関連産業の後継者育成と確保を図ることを目的として、試験船による体験航海の要望が増加してきている。

これらに対応するため、試験船東奥丸により体験航海を実施する。

〈事業の内容〉

- ・体験航海を行った試験船 東奥丸（140トン）
- ・体験航海の回数 3回

〈結果の概要・要約〉

1. 体験航海の実施日及び航海数

平成17年7月17日及び8月4～6日で、合計4日、3航海を実施した（次ページの表参照）。

2. 体験航海の内容

体験航海、海洋観測・いか釣り見学、釣り体験など

3. 体験航海の参加者数

小人40名、大人18名 計58名

4. その他

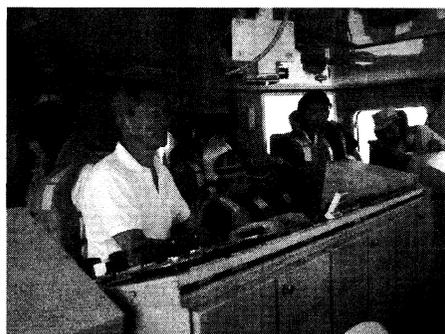
- ・7月17日に鱒ヶ沢地先で行った体験航海では観測（動物プランクトンの採集）見学も行った。入出港時の乗船者の待機状況もよく、船員の指示も良く聞いていた。船内における学習会で船酔いをする児童もみられた。
- ・8月4～6日に鱒ヶ沢と北海道江差町間で行った体験航海では西海岸二町水産振興協議会で募集した児童が参加した。江差町では現地の「夏の冒険王クラブ」との交流会等を行った。また、体験活動では筏作りを行い、海水浴時に進水した。

〈今後の問題点〉

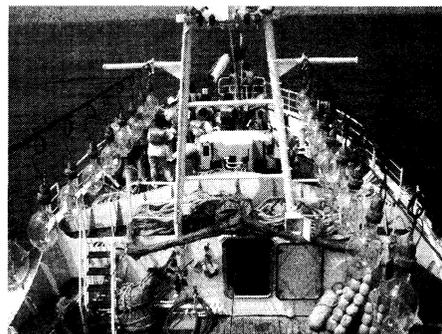
- ・体験航海は試験船の運航スケジュールを調整して行っている関係上その年間回数には限りがある。これまでは西海岸地区でのみ行ってきたが、今後は他の海域にも広げていくことが考えられる。その際にも、体験航海の参加者をどのように決めるかが今後の課題となる。
- ・泊りがけのスケジュールの場合、船内に宿泊することも予想されるので、部屋の確保も今後の課題となる。
- ・現在は大人用の救命胴衣を使用しているが、小人用の救命胴衣を整備していくことが求められる。

体験航海の実施状況(平成17年度)

No.	1	2	3	合計
団体名	稲垣西小学校	鱒ヶ沢マリナーズ	西海岸二町水産振興協議会	
人数(小人)	11	16	13	40
人数(大人)	10	3	5	18
小計	21	19	18	58
実施日	7月17日(日) 09時30分～11時30分	7月17日(日) 17時～21時	8月4日(木)08時30分から 6日(土)19時30分	
内容	体験航海	体験航海・釣り体験	体験航海、海洋観測・いか釣り見学、釣り体験、江差町こどもクラブとの交流	
摘要	航海時間は1時間半程度。入出港時の乗船者の待機状況もよく、船員の指示も良くきいていた。	航海中、食堂にて鱒ヶ沢普及所田中技師からスルメイカの生態や漁業などについて資料及びビデオを使った説明があった。さおや手動式イカ釣り機による釣り体験も行われた。	鱒ヶ沢港入出港、北海道江差町に宿泊。江差町で地元の児童団体との交流会も行われた。	



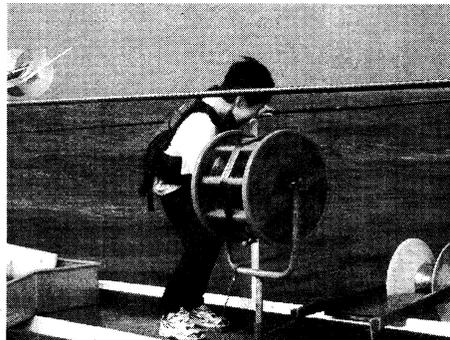
船長に操船の説明を受ける



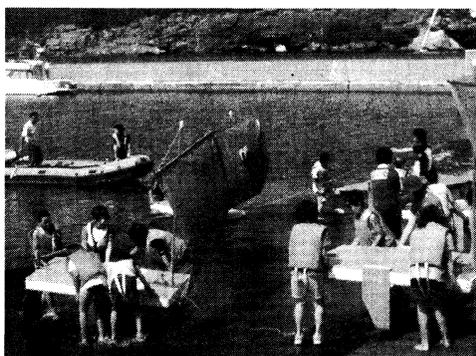
船のおもてに立ってクルージング



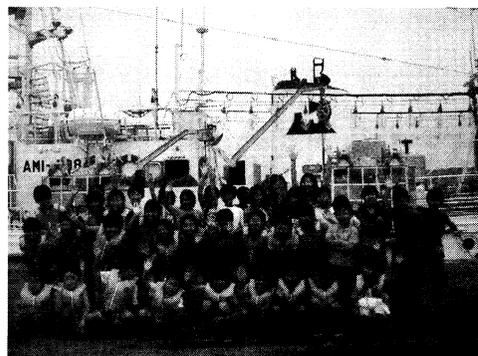
船の食堂に集まってイカの学習会



手動式いか釣り機に挑戦



自作のイカダで進水



江差の児童団体とともに記念撮影